



ニュースリリース 平成 24年 3月 29日

市町税等の「公金収納情報データ化サービス」の開始について

常陽銀行（頭取 寺門 一義）は、このたび、地方公共団体における公金収納事務の効率化を支援するため、新たに茨城県内の2市1町を対象に市町税等の「公金収納情報データ化サービス」を開始しますので、下記のとおりお知らせいたします。

本件は、金融機関等の窓口で収納された領収済通知書等（紙ベース）を電子データ化するものです。

当行は、今後とも地域金融機関として、地方公共団体と連携を図るとともに、質の高いサービスの提供に努めてまいります。

記

1. 取り扱い開始日

4月2日

2. 新たに対象となる地方公共団体

常総市、筑西市、八千代町

3. サービスの概要

○納付済通知書の電子データ化（OCR読取り処理・データ入力処理）および消込み用データ※の作成

※地方公共団体にて市税等の請求データと納付済データの突合に使用するもの。

○納付済通知書のイメージ（画像）データおよび検索システムの提供

○納付者が納付した日付（納付日）データの提供

4. 取り扱い費目

固定資産税、市町・県民税、国民健康保険税、軽自動車税、介護保険料、後期高齢者医療保険料

以 上